第 21 回ものづくり・創造性教育に関するシンポジウム実施報告

名古屋大学工学研究科　創造工学センター

名古屋大学は，令和 6 年 11 月 15 日，「第 21 回ものづくり・創造性教育に関するシンポジウム」を開催し，全国の加盟大学・高専から 12 大学計 20 名の参加者を迎えた．

2023 年に竣工した EI 創発工学館 Fuji ホールを会場にして，小橋眞工学研究科長の開催挨拶に始まり，井上剛志センター長・装置開発系技術職員中木村氏・森木氏の進行で，各大学がそれぞれの活動状況や取り組みを公開し，全 14 講演発表が行われた．また昼食を挟んで，本学のオークマ工作機械工学館の紹介，技術部実験実習工場でのガラス管製作デモ，毎年大会で活躍を見せる学生フォーミュラチーム FEM の見学ツアーを行った．

講演発表終了後には意見交換会を実施し，事前アンケートで募った討論テーマ「１.人材とものづくり教育」「２.予算とものづくり教育」「３.AI とものづくり教育」「４.その他」について，活発な討論が展開された．人員，場所，予算の削減は多数の大学の悩みである．その中で外部プロジェクトや外部予算を利用した体験，その成功・失敗例，AI 利用が主流になっていく上での懸念…など，新しい世代へ新しい手法で「ものづくり教育」「創造性育成教育」を行うために各大学が試行錯誤していることを改めて認識した．最後に井上創造工学センター長より，「皆さんの経験に基づいた知識によってまとめられたノウハウがあるなら，できる範囲でオンラインテキストとしてこのネットワークでどんどん共有させてほしい．AI 利用についての経験も公開していけば，毎年さらに進んだ知識を共有し合えるのではないか」との提案があり，教育効果の高い運営を行うための情報交換の場としてそれぞれが持つ問題意識や将来的課題を共有し，新たな知見を得る貴重な機会を締め括った．参加された各校の皆様に心よりお礼を申し上げる．

最後に，2025 年度シンポジウム幹事校を務められる徳島大学　森口茉梨亜先生よりご挨拶をいただいた．2026 年度は和歌山高専での開催が予定されている．

事後報告ではあるが，2027 年度の幹事校について山口大学より了承をいただいたことを申し添える．

以上